



Doshisha University supports the Sustainable Development Goals

諸君ヨ、
人一人ハ
大切ナリ

SDGs シンポジウム

History of Jo Neesima

同志社大学のルーツとなる同志社英学校の創立者、新島襄は、「諸君ヨ、人一人ハ大切ナリ」という言葉を遺しており、その本質はSDGs取組の過程で、「誰一人取り残さない (no one will be left behind)」ことを誓っていることに通じています。同志社大学はAll Doshisha Research Model 2025プロジェクトを2022年度に発足し、SDGs達成のための研究課題を推進しています。本シンポジウムは、SDGsに挑む「同志社」の研究成果を広く発信いたします。

開催日 2024年 3/8 (金)

時間 14:30~16:30

場所 同志社大学 良心館RY305 (今出川校地)



お申込み【締切:3/7正午】
(会場/Zoom ウェビナー)

リンク先のイベント記事より参加申込フォームにアクセスください。

<https://www.doshisha.ac.jp/event/detail/001-115nid.html>



プログラム

14:30-14:40
開催挨拶

塚越 一彦 (研究開発推進機構長)



SOLVE for SDGs
SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム

令和2年度採択 ソリューション創出フェーズ

14:40-15:10

幼児から青少年までのレジリエンス向上を目指したプログラムと人材育成体制づくり
石川 信一 (心理学部 教授)

諸君ヨ、人一人ハ大切ナリ、同志社大学SDGs研究プロジェクト

15:15-15:35

竹林SDGsを通じたグリーン commons の創造

大和田 順子 (政策学部 教授)

15:35-15:55

環境負荷の小さな水中のパーフルオロアルキル化合物の新規分離系の開発
松本 道明 (理工学部 教授)

15:55-16:15

大学における「誰一人取り残さない」ためのアクセシビリティを考える
—「場」としての大学へのアクセシビリティ保障を目指して—
梶山 玉香 (法学部 教授)

16:15-16:20
閉会挨拶

中西 久枝 (研究推進部長)

主催：同志社大学 研究開発推進機構

同志社大学 研究開発推進機構
「諸君ヨ、人一人ハ大切ナリ」
同志社大学 SDGs 研究」プロジェクト
adrm-project@mail.doshisha.ac.jp



Doshisha University supports the Sustainable Development Goals

諸君ヨ、
人一人ハ
大切ナリ

SDGs シンポジウム

History of Jo Neesima

同志社大学のルーツとなる同志社英学校の創立者、新島襄は、「諸君ヨ、人一人ハ大切ナリ」という言葉を遺しており、その本質はSDGs取組の過程で、「誰一人取り残さない (no one will be left behind)」ことを誓っていることに通じています。同志社大学はAll Doshisha Research Model 2025プロジェクトを2022年度に発足し、SDGs達成のための研究課題を推進しています。本シンポジウムは、SDGsに挑む「同志社」の研究成果を広く発信いたします。

開催日 2024年 3/8 (金)

時間 14:30~16:30

場所 同志社大学 良心館RY305 (今出川校地)



お申込み【締切:3/7正午】
(会場/Zoom ウェビナー)

リンク先のイベント記事より参加申込フォームにアクセスください。



<https://www.doshisha.ac.jp/event/detail/001-115nid.html>

プログラム

14:30-14:40
開催挨拶

塚越 一彦 (研究開発推進機構長)



SOLVE for SDGs
SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム

令和2年度採択 ソリューション創出フェーズ

14:40-15:10

幼児から青少年までのレジリエンス向上を目指したプログラムと人材育成体制づくり
石川 信一 (心理学部 教授)

諸君ヨ、人一人ハ大切ナリ、同志社大学SDGs研究プロジェクト

15:15-15:35

竹林SDGsを通じたグリーン commons の創造

大和田 順子 (政策学部 教授)

15:35-15:55

環境負荷の小さな水中のパーフルオロアルキル化合物の新規分離系の開発
松本 道明 (理工学部 教授)

15:55-16:15

大学における「誰一人取り残さない」ためのアクセシビリティを考える
—「場」としての大学へのアクセシビリティ保障を目指して
梶山 玉香 (法学部 教授)

16:15-16:20
閉会挨拶

中西 久枝 (研究推進部長)